

2025年大阪・関西万博への誘い

JAPAN ASSOCIATION FOR THE 2025 WORLD EXPOSITION
Deputy Director (Global Public Relations & Promotions Division)
松田 博和



はじめに

2024年10月13日に大阪・関西万博の開幕まで半年前を迎え、刻一刻と万博開幕の日が近づいて来ています。皆様は大阪・関西万博についてどのくらい御存知でしょうか。よく知っている方もそうでないかたも、この記事を通じて改めて2025年大阪・関

西万博の魅力について再認識して頂き、入場券の御購入・入場の御予約を進めて頂ければ幸いです。10月13日からは来場日予約が始まりました。「ほぼ毎日が、ナショナルデー、スペシャルデー」というスローガンの元、非常に多種多様なイベントが企画されています。

「ほぼ毎日が、ナショナルデー、スペシャルデー」



ナショナルデー イメージ図



万博開幕半年前 クリエイティブ

1. 万博の定義

万博の正式名称は万国博覧会といえます。国際博覧会条約に則って開催されるイベントのことで、「博覧会国際事務局」(Le Bureau International des Expositions 略称BIE)がパリに存在しています。現時点での国際博覧会条約加盟国は183ヶ国です。1928年の国際博覧会条約には、「博覧会とは、公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要のために達成された進歩もしくは将来の展望を示すものをいう」と定義されており、人類そして文明の進歩のために、国家が総合的な視点から催すイベントというのが万博です。



第二次世界大戦後の大型万博のロゴ¹

3. 世界と共創する万博 ～海外パビリオンの魅力～

本年3月14日時点で、公式に参加を表明したのは161ヶ国・地域、9国際機関となっています。1970年の大阪万博では参加国は77ヶ国、2005年の愛・



シンガポールパビリオン イメージ画像²

地球博では121カ国だったことを考えますと、今回の万博の参加国の多さがおわかり頂けることと思います。

シンガポールのパビリオンは「ゆめ・つなぐ・みらい」というテーマで準備が進められています。赤い球体がシンボルのパビリオンは見た目も非常にユニークで、今から非常に高い関心が集まっています。

4. シグネチャープロジェクト

「シグネチャープロジェクト」は、大阪・関西万博会場の真ん中に位置する8人のプロデューサーが主導するパビリオンを起点に展開されます。このパビリオンを「シグネチャーパビリオン」と命名致しました。「シグネチャーパビリオン」及び「シグネチャーイベント」を通じて、リアルとバーチャルをインクルージョンした多様な体験により、訪れるすべての人々が「いのち」について考え、その概念をアップデートする場所になることと考えます。「いのちを響き合わせる」「いのちを守る」「いのちをつむぐ」等、8つのテーマに8人のプロデューサーが取り組んでいきます。

Expo Theme Project Division Producers

MIYATA Hiroaki



ISHIGURO Hiroshi



NAKAJIMA Sachiko



OCHIAI Yoichi



FUKUOKA Shin-Ichi



KAWAMORI Shoji



KOYAMA Kundo



KAWASE Naomi



8名のテーマプロデューサー³

5. 日本のパビリオン

日本館（日本政府館）、各民間パビリオン（NTT Pavilion “Natural”（仮称）、電力館、三菱未来館、住友館、他）、ウーマンズ パビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン

ケアパビリオン等、いのちのつながり、公平で持続可能な未来など、それぞれのテーマを展示します。



国内パビリオン



提供：経済産業省

日本館

「いのち、いのちの、あいだに」をテーマに、来場者自らが、独自のいのちのつながりや価値の中で生かされている存在であり、地球といういのちの東の一部であることに気づく機会を提供する。



ウーマンズ パビリオン

「When women thrive, humanity thrives」とともに生き、ともに輝く未来へ」をコンセプトに、女性たちの体験や視点を通じ、すべての人が公平に生き尊厳しい共に歩みながら、能力を発揮できる世界をつくるきっかけを生み出すことを目指す。



大阪ヘルスケアパビリオン

「REBORN」をテーマに、「いのち」や「健康」の観点から、子どもから大人まで楽しみながら、ミライの大阪の可能性を感じることができる展示体験を提供する。



関西パビリオン

「いのち輝く関西悠久の歴史と現在」をテーマに、道智、京阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島、福井、三重の9府県による独自展示エリアを設け、関西各地の歴史や文化、観光などの多彩な魅力を発信する。



民間パビリオン



提供：日本電信電話株式会社

NTT Pavilion “Natural”

次世代インフラ「6G」により、物理的な距離や心理的なカベを超えて、遠くの人やものと空間や感覚を共有できる、未来のコミュニケーションの形をお見せする。



提供：電力中央委員会

電力館 可能性のタマゴたち

ワクワクする体験を通じエネルギーに関するたくさんの方の「可能性のタマゴ」を体感いただくことで、「エネルギーの可能性で未来を切り開く」というメッセージを伝えます。



提供：住友 EXPO2025 推進委員会

住友館

私たちが直面する社会や環境問題への関心を持ち続けてもらうため、森の中でさまざまな「いのちの物語」に出会うインタラクティブな体験や、植林体験を実施する。



提供：パナソニックホールディングス株式会社

パナソニックグループパビリオン「ノモの国」

ここ「ノモの国」では、子供たち一人ひとりが、心の持ちようが変わるような体験を通じて「自分を信じるチカラと一歩を踏み出す勇気」が待てるきっかけを提供する。



提供：三菱大阪・関西力博覧会委員会

三菱未来館

地上に浮かぶマザーシップのような建物で、船内に乗り込んで、時間・空間のリアル体験から「いのちの未来」を感じていただく。



提供：吉本興業ホールディングス株式会社

よしもと warai myarai館

“warai”が世界語となることを夢見て、笑いの新しい可能性を託けて、言葉や文化を超えて、世界の子どもたちが笑顔でつながることができるチカラを示す。



提供：株式会社パナソニックグループ

PASONA NATUREVERSE

「からだ・こころ・まぎな」をテーマにさまざまな展示を行い、いのちの歴史を学び、人類の叡智や未来社会のデザインに触れ、「いのち」への感謝を伝える。



提供：特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン

BLUE OCEAN DOME(ブルーオーシャンドーム)

テーマは「海の共生」。劇的な映像体験で、地球や海洋に対する行動変容を引き起こすとともに、「海の持続的活用」を啓発し「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実現に取り組みます。



提供：株式会社バンダイナムコホールディングス

GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION

「ガンダム」の持つ壮大な世界観には、まだ実現できていない新しい技術や可能性が詰まっている。「ガンダム」を通して新たなテクノロジーや、宇宙について興味を持つきっかけを提供する。



提供：玉山デジタルテック株式会社

TECH WORLD

「世界をつなぎ、より良い未来の暮らしへ」をコンセプトに、デジタル技術を用いて、自然との共存、人とのつながり、輝きのいのちという未来社会ビジョンを実現する。



提供：一般社団法人日本ガス協会

ガスパビリオン おばけワンダーランド

「化けろ、未来！」をコンセプトとし、カーボンニュートラルの実現に向けた未来の技術などを伝えます。「おばけ」たちと一緒に、未来に「化ける」ドキドキワクワク体験をお楽しみ下さい！



提供：阪田グループホールディングス株式会社

阪田グループ・大阪公立大学共同出展館

全ての「いのち」あるものが幸せに暮らせるようにという希望を、西陣織を纏ったメビウスの形で表現。伝統と進化の融合によって実現する未来社会を体感できる。



提供：一般社団法人 大阪外食産業協会

ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」

世界に「宴～ UTAGE～」として定着させていくとともに、おもてなし、食体験、新境地、賑わい、外食産業の発展を「宴～UTAGE～」の中で目指す。



6. 未来社会ショーケース事業

SDGs達成後に実現するSociety5.0の社会＝“いの

ち輝く未来社会“を支える技術・サービスを先んじて展示・体験する場です。現地来場者と数億人にのぼる仮想空間来場者に発信します。



未来社会ショーケース

 <p>提供: 日本電信電話株式会社</p>	 <p>提供: NTT</p>	 <p>提供: 日経E、大阪ガス</p>
 <p>提供: 関西電力・Osaka Metro</p>	 <p>提供: 船谷産業株式会社</p>	
<p>Digital</p> <p>来場者向け パーソナルエージェント</p> <p>誰もがストレスなく会場内を周遊するための会場案内アプリを提供し、効率的で快適な万博体験をサポートします。</p>	<p>Virtual</p> <p>バーチャル万博 ～バーチャル会場～</p> <p>オンライン空間上に3DCGで夢洲会場を再現し、アバターでバーチャル会場を散策。リアルな夢洲会場では、ARコンテンツも楽しむことができます。</p>	<p>Green</p> <p>カーボンリサイクルファクトリー</p> <p>大気から直接CO₂を回収する技術(DAC)や、CO₂とH₂からe-メタンを合成するメタネーション等、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する技術について実証設備をご覧いただけます。</p>
<p>Smart Mobility</p> <p>EVバス</p> <p>走りながら自動給電するバス。そのEVバスに実乗乗ることができ、万博会場内のルート走行をお楽しみいただけます。</p>	<p>水素船</p> <p>海を過ぎて万博会場に航路でお越しになる来場者に、よりスマートで、よりクリーンな移動手段を提供します。</p>	

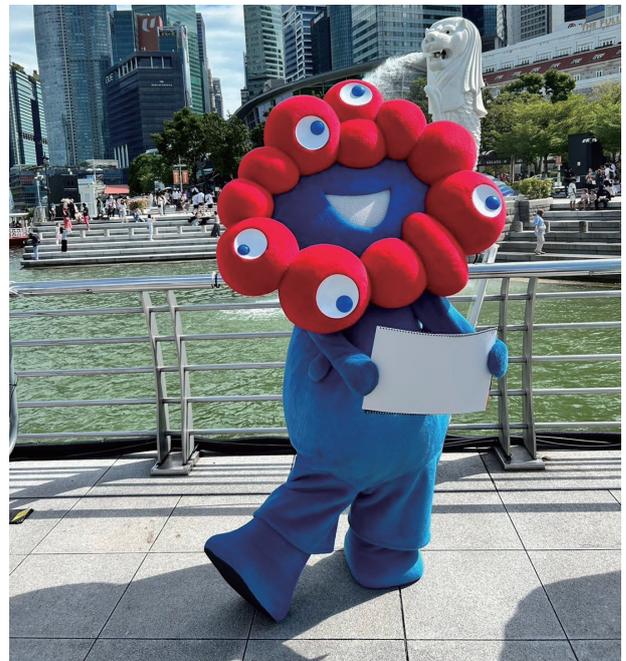
7. 終わりに

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下、国内外から多くのお客様をお迎えすべく、万博協会職員一同、全力で準備を進めています。

この度、ASEAN加盟国から海外広報の支援に当たる「研修生」の受け入れが決定致しました。筆者が所属する海外コミュニケーション部にも「研修生」が配属されます。ASEANは万博誘致への関心が高く、将来の開催に向け、ノウハウの伝授にもつなげる意図があります。万博のコンテンツは日々拡充していますが、魅力的な内容をシンガポールをはじめとするASEAN加盟国の皆様に知って頂き、万博への来場と共に日本の魅力ある観光地へも訪れて頂くことを望んでおります。是非、万博の公式ウェブサイトだけでなく、JNTO日本政府観光局の万博+観光をテーマとした特設ページも御愛顧下さい。

<訳注>

- 1 <https://www.expo2025.or.jp/>
- 2 <https://www.stb.gov.sg/content/stb/en/media-centre/media-releases/Unveiling-of-The-Dream-Sphere-Singapore-Pavilion-Design-for-Expo-2025-Osaka-Kansai-Japan.html.html>
- 3 <https://www.expo2025.or.jp/>



マーライオンと戯れるミャクミャク

執筆者氏名

松田 博和 (まつだ ひろかず)

経歴

2016年入局。2017年～2019年台湾駐在、2019年～2023年に中国及び香港市場を担当し、プロモーション業務やアジア10市場を対象とした「アジアにおける大規模キャンペーン事業」を担当した。2023年4月より、2025日本国際博覧会協会事務局へJNTO代表として派遣。全国通訳案内士(中国語・英語)
MatsudaH@expo2025.or.jp